

高齢運転者のための サポートブック

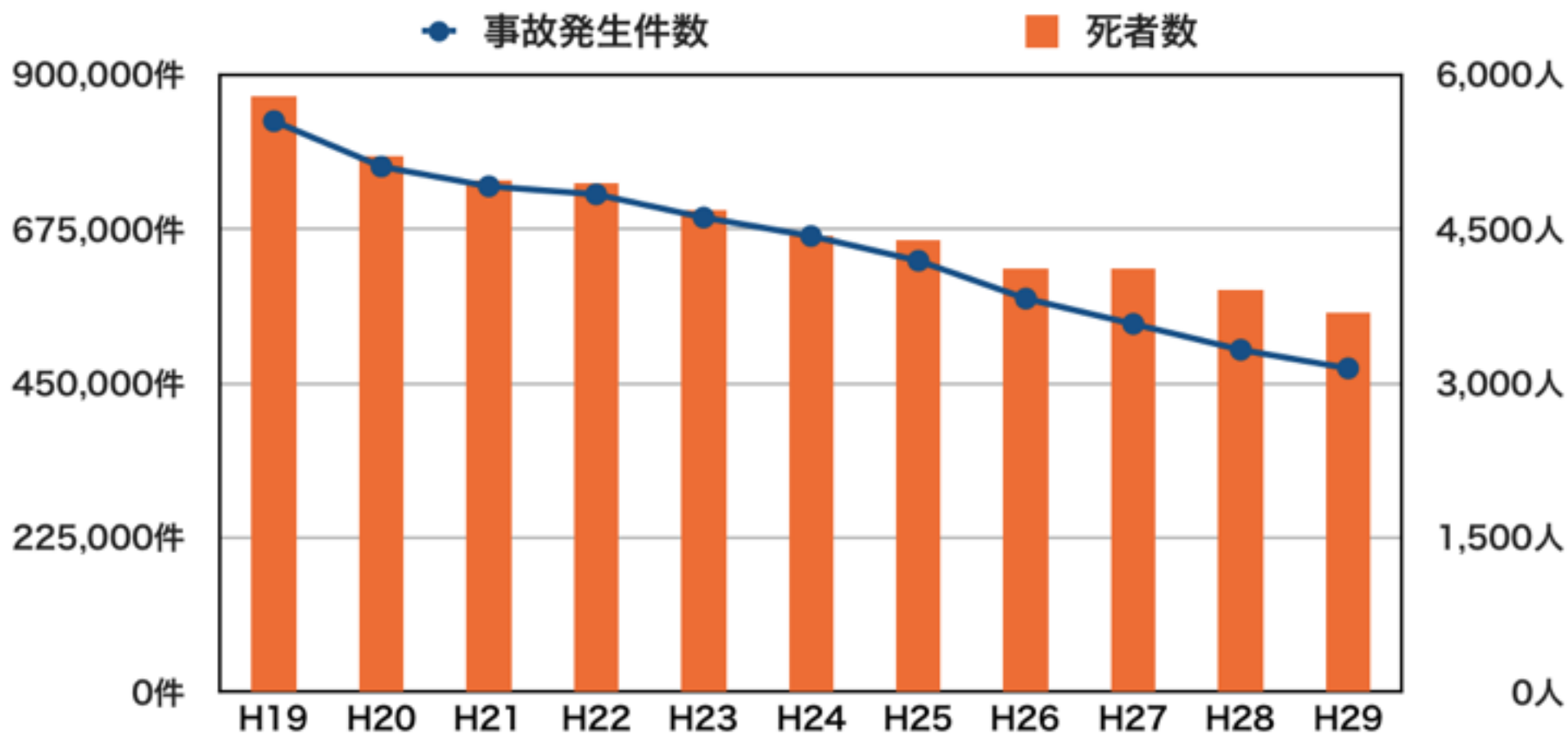




II. 交 通 事 故 統 計



過去10年の事故発生状況



※もっと詳しい統計を見たい方は
こちらを押してください→

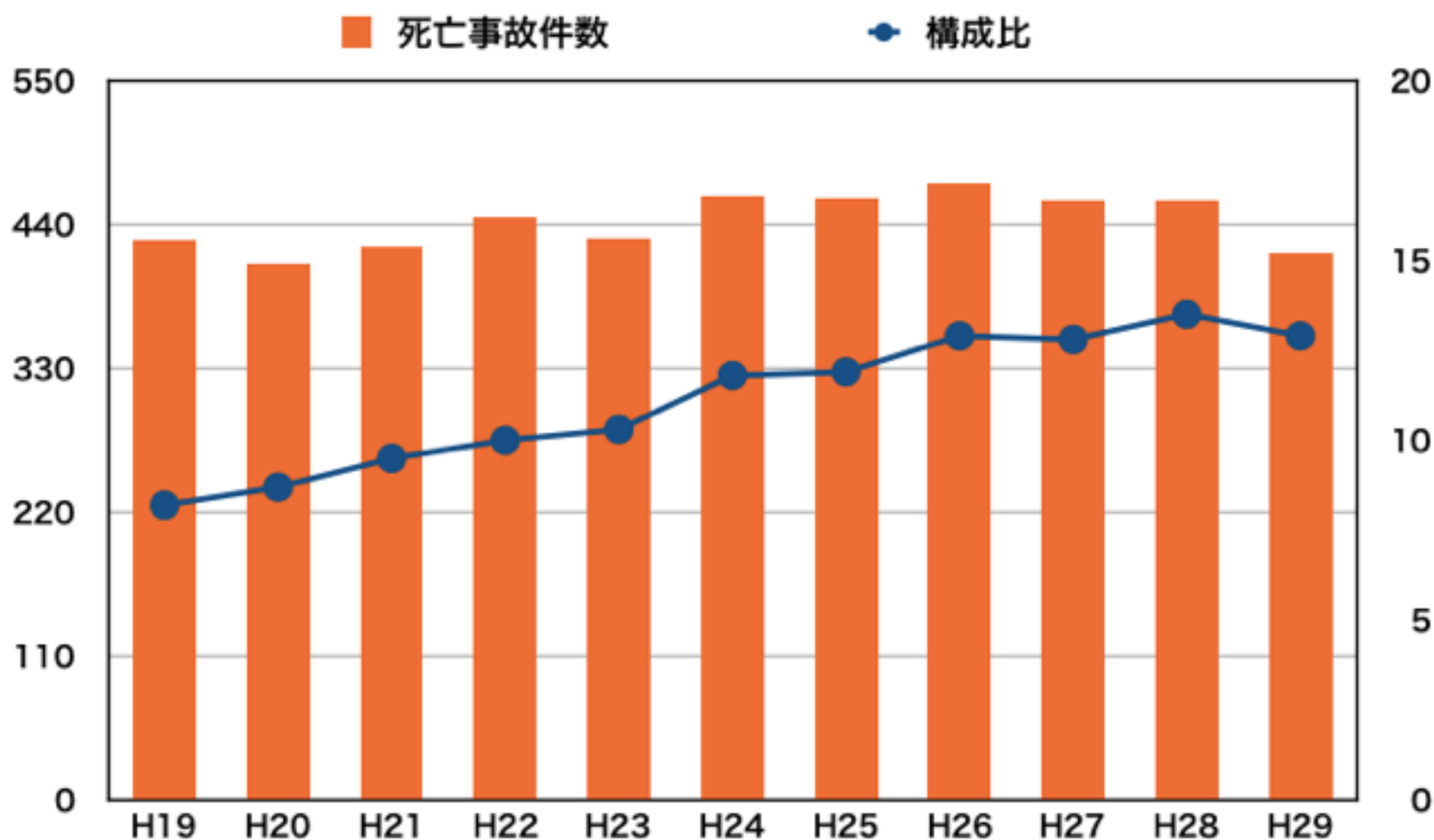
もっと見る

上記の統計から、日本における交通事故の発生件数や、死者数の数は**減少傾向**にあることが分かります。

では高齢運転者に着目して統計を見てみるとどの様になっているのでしょうか？

チェックして見ましょう。

75歳以上の高齢運転者による死亡事故件数（全国）



件数は**横ばい**、構成比は**増加傾向**にあることが分かります。



チョット注目。

【交通事故死者数に占める高齢者（65歳以上）の割合】

H19	H20	H21	...	H27	H28	H29
47.4	48.4	49.9		54.6	54.8%	54.7

H28は全死者に占める高齢者の割合が54.8%と、**過去最高**となっています。またいずれの年も約5割と高い割合を占めています。つまり、**高齢者が事故により死亡するリスクは高い**ことを意味します。

高齢運転者の特徴のコピー

これまでは、交通事故統計を見て交通事故発生件数等は減少傾向にあるものの、高齢運転者による死亡事故件数は横ばい状況であることなどについてグラフで見えてきました。では、実際に高齢運転者が事故を引き起こしてしまう原因や運転特性とは一体何なののでしょうか？



高齢運転者が事故を引き起こす一般的な要因



疲労時の
回復力の低下



注意力の配分や
集中力の低下



柔軟、瞬間的な
判断力の低下



高齢運転者に多い事故

- ・ 出会い頭事故、追突事故
- ・ 右折時の事故
- ・ 買い物、通院等での事故
- ・ 一時不停止や信号無視、安全運転義務違反を伴うもの



高齢運転者に多い運転特性

- ・ 信号機や標識の見落とし
- ・ 「相手が止まってくれるだろう」という判断の甘さ
- ・ 危険に直面してもアクセルから足を離すのが遅れる
- ・ 相手を発見しておきながら、ブレーキを踏まない



チョット注目。

【高齢運転者が運転をする上での留意点】

◆追突事故を防ぐには

- ・ 車間距離を十分にとり、前をよく見て運転して、運転中に考え事をしない

◆出会い頭の事故を防ぐには

- ・ 車や人の動きなど多くの点に注意する

◆交差点を通行するとき

- ・ 右折時は対向直進の二輪車、自転車や歩行者との事故、左折時は歩行者や自転車の巻き込み事故に注意する

◆運転の前に

- ・ 体調の確認を行う
- ・ なるべく同乗者を伴った運転を行う

実際の交通事故事例

H28年11月、普通乗用車を運転する80歳代の男性が、栃木県下野市内の病院の駐車場においてブレーキペダルと間違えてアクセルペダルを踏み込んだことにより車両を暴走させ、ベンチに座っていた女性及び建物の支柱等に衝突した結果、女性1名が死亡し、女性2名が重軽傷を負った。



実際の現場の写真




練習問題 1

高齢運転者の交通事故要因としてあげられるものは次のうちどれでしょう。

- A.** 柔軟な判断力の低下
- B.** 慎重で、ゆっくりとした速度での運転
- C.** ブレーキを必要以上に踏む

 が出たら正解です

 が出たら不正解です

答えを確認